

## 油流出を想定したオイルフェンス設置訓練を実施しました 平成22年9月7日

9月7日(火)、大橋左岸上流の馬淵川河川敷において、オイルフェンス設置訓練を実施しました。河川に油が流出したとの想定のもと、下流への被害拡散を防止するためのオイルフェンスの設置方法や、油吸着マットの油種による使い分け等、実践的な訓練が行われました。



馬淵川流域(岩手県北～青森県南地域)の関係機関50名の参加がありました。



「NPO法人 自然エネルギー・環境協会北関東・東北支部」の皆さんによる油事故対応方法の説明。模型やパネルを使った、わかりやすい説明ありがとうございました。



参加者全員で基本のロープワークを確認。



水路と馬淵川の合流部分に「オイルフェンス」を設置。本川への被害拡大を防ぎます。



樋管排水路のような比較的狭い水路では、油吸着材入りの小型のオイルフェンスを設置。フェンスを2重に設置かつ、端部から漏れの無いように、吸着マットを追加。



小水路・側溝を使った訓練。流出する油の多くは、まず市街の側溝に流れ込みます。発生箇所のすぐ近くでの対応が特に大事。

今年4月～8月までで、7件の油流出事故がありました。  
これから冬にかけて、特に多く発生しますので注意しましょう！！